

KSKQ どかどか No.289 ぽぽんがぽん news



笑顔あふれ つながりあえる社会へ
～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいいたします。

さて、ぽぽんがぽんでは近年のホームページやメール、LINE等のSNSなどIT技術の普及状況を鑑み、また経費削減等の観点から、誠に勝手ながらこれまでの「年賀状」での新年のご挨拶を控えさせていただきます。年始に発行しております本紙「ぽぽんがぽんNEWS」(通称:通信)でのご挨拶に一本化させていただくことといたしました。みなさまには何卒ご理解頂き、今後とも変わらぬご厚情賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

コロナ禍の2回目のお正月を迎えました。これを書いている11月中旬では大阪の感染者数も連日20名前後で推移し、感染の広がりが一定おさえられているようです。外食や旅行にも人出が戻りつつあるように思います。皆様におかれましても、昨年とは違った形で新年をお迎えされていますか？

コロナによって社会が一変してからおよそ2年といったところでしょうか。マスクや手指消毒や外食離れなど、生活様式への影響は大きかったです。一方でオンラインの急速な普及によっても大きな社会変革が始まりました。私も研修やさまざまな情報に触れる機会が格段に増えました。このことにより、多くの気づきや学び、出会いが生まれました。しかし、情報過多は時として混乱や不安、人を傷つけてしまうことにも容易に発展してしまふことがあります。今後、ICT等の技術や知識だけでなく、リテラシー(収集した情報を自身の目的のために正しく利用するための能力)がますます重要になっていきそうです。

また、ぽぽんがぽんは2021年5月にホームページをリニューアルいたしました。また法人のフェイスブックやツイッターも細々とではありますが活用しています。オンラインの普及に合わせて、情報を得るだけでな

く、発信や活用にも積極的に取り組んでいかなければいけないと考えています。

さて、オンラインでの研修を通じて意識するようになったキーワードのひとつに「境界」があります。この「境界」を意識し、自己と他、個と社会、領域と他領域の境界に自覚的になることはとても大切なことだと感じています。ここを大切に考えていくことは、よい支援にもヒントになると思っています。今年はいろいろな「境界」を意識しながら、取り組んでいきたいと思っています。

(事務局長 水野昌和)

目次

- 1 年始のごあいさつ
- 2~3 スタッフと各場の紹介
- 4 きょうのNANIKA
- 5 ろくちゃんまちをゆく
- 6 ほっとひといき
- 7 後援会より/ご寄付等お礼
- 8 編集後記

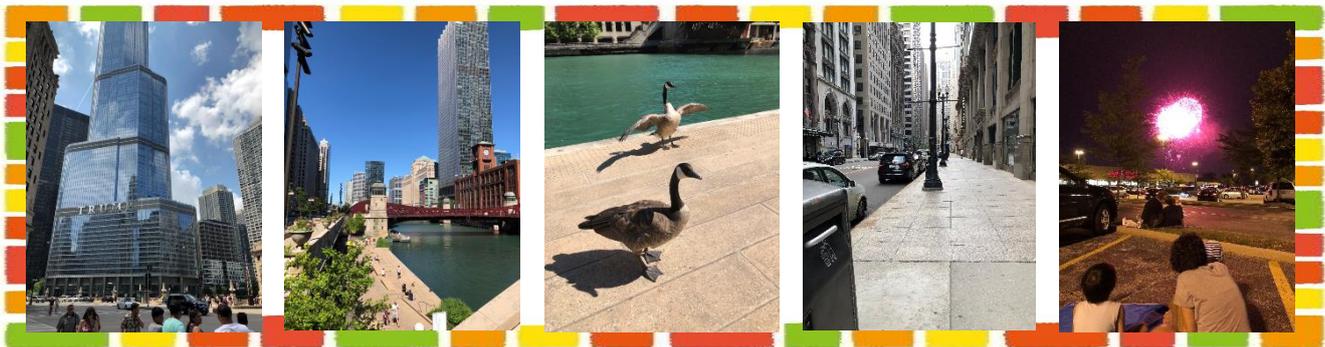
一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月1・2・3・4・5・6・7・8の日発行



スタッフ紹介
かしの木園
高田さん編

かしの木園の高田明美(調理員)です。約3年前の夏、夫婦で行った一週間の海外旅行の話させていただきます。行き先はシカゴ郊外の街シャインバーグ(当時、長男家族在住)。往路、羽田一オヘア(シカゴ)間、約13時間の空の旅。機内では私の周りは外国人ばかり…。「話しかけられたらどうしよう…(×_×;)」声をかけられる訳がないのに(笑)。緊張で胸の鼓動が高鳴るばかり…。隣の人が「Excuse me.」と私の前を通り、席を立ちました。私もトイレタイムのため「Excuse me.」とニコリ試しに言ってみると、微笑み返してくれ、うれしかった(*ノωノ)です。「よっしゃっ通じた！」荷物検査では再検、セルフサービスでの入国手続きなどトラブル多発…高かったモチベーションも急降下(ˉ_ˉ;)。

トランプタワー、河、橋の多いシカゴでは昔のテレビドラマ「ニューヨーク恋物語」を彷彿とさせるロケーション！田村正和が今にも現れそうな景色…。隣ではバーガーをむさぼっている老人(主人)とその息子。二人の姿で田村正和もぶっ飛んでしまいました(笑)。カードでの買物が突然不可能になり、これには参りました。この旅の目的のひとつ、独立記念日(7月4日)の花火は感動もの！360度花火でした！復路の空港では夫とはぐれ、またまた胸の鼓動が高鳴り、私は急ぎ搭乗口へ。すでに到着していた主人と堅い握手をかわし一件落着。(ここでは「ハグ」でしょう。でも私は日本人…でした。)
「初めての海外旅行」、日常体験することのない別世界の一週間でした！(高田明美)



イベント給食 コスプレ紹介

かしの木園では年に2回イベント給食があります。その際、管理栄養士の菊地さんのご厚意にてコスプレを



2021年3月
鬼滅の刃



スタッフ紹介
かしの木園
川崎さん編

【家飲みパーティー】

知人から譲り受けたビールサーバーとお好み焼き鉄板
がある我が家(笑) 逆にそれしかない我が家(笑)
でもそのおかげでたくさんの仲間が集まってくれます
(^^♪ 大人も子供も遠慮なし(*^^*) 「生いっちょ
う!」「あいよっ!」と子供たちは居酒屋の店員さんに



なります(笑) 気まぐれ店員のため生ビールをいれてくれない時もあり…。

最後は何の話をしたんだかねー!? 仲間です。次はいつ~?! が嬉しい楽しい(*ノωノ)

心(飲む為に体調を整える?! 健康なのか不健康なのか?! 間違いなく心が健康! ならいいか(^_-)-☆



【初海外がバリ島?!】

68歳、63歳での初海外がまさかのハワイでなくバリという日本語がまったく通じない場所! たよりは夫のお友達と孫娘(^^♪ (心の声「娘夫婦よ。孫に英会話を習わせてくれてありがとう。」) 孫達はイカ焼きしか口に合わず、そればかりを食べて大人はビールを求めてコンビニに走る! どこでも川崎家はアルコールを求め(^^♪ コロナが終息したらまた行きたい場所でその時も孫娘よろしゅうに~(^_-)-☆

(川崎節子)



楽しんでます。これがまたすごいクオリティで皆からも好評で楽しんでます。

SUPER
KASHINOKI
WORLD

2021年8月
マリオワールド
キノピオカフェ

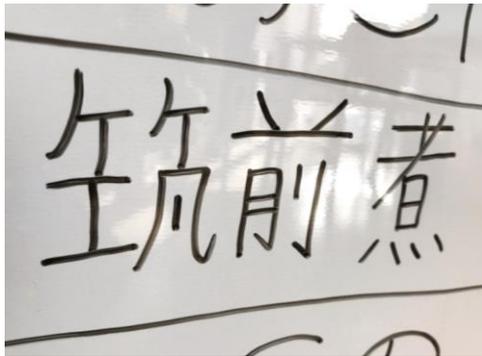


きょうのNANIKA

005

生活介護事業所ぽかぽか・どかどかに通う利用者さんの取り組みのなかで、
 わたし支援スタッフや、利用者さん同士が「何かすごい」「何か良いなあ…」と感じた「何か」。
 名前をつけたり説明してしまう前に、まず色々な人に見て欲しい、
 そして一緒に考えられたら良いなと思います。

(題字：林裕之さん 文：やまねやすみ)

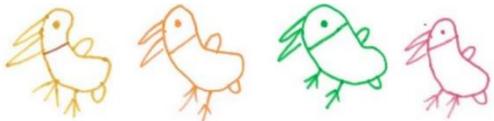


①

左の写真(①)は、村上さんが毎日書いている「明日の献立」です。
 献立表を見ながら、少しでもかすれたりすると消して書き直し、丁寧に仕上げられます。

その下のイラスト(②)は、村上さんに頼むときどき描いてもらえる「鳥」です。有名人がサインをするように、ためらいなく描かれます。

村上さんの書く線は、迷いがなく、くつつくところはしっかりくつついていて、はっきりしています(例外もあります)。



②



③

村上さんは、毎日ぽかぽかに着いたら、自分の昼食の準備をして、
 事務所にある送迎管理表をファイルして…それぞれ「やる」「おわる」
 ということがはっきりしたルーティンを、職人のようにこなしていきます。

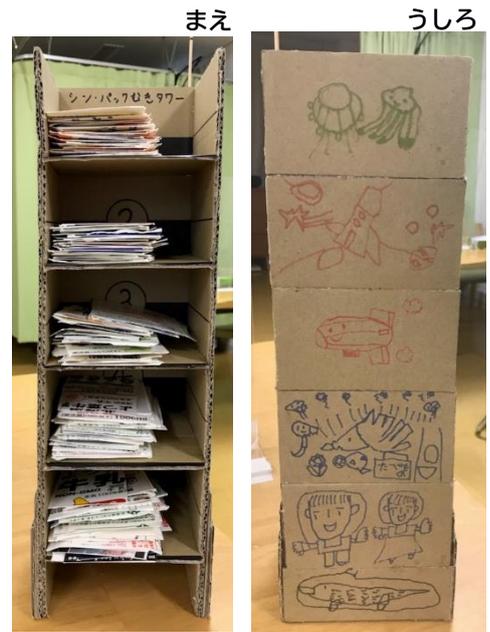
作業時間は、牛乳パックのビニールはがし(かみすきの原料)を主に
 されています。これも1枚ごとに「やる」「おわる」がはっきりして
 いて、数枚ずつ束で取り組んでいるので、1束ごとにも「やる」「お
 わる」がはっきりしています(③④)。

でも、全てがそういう過ごし方というわけではなく、時々畳やソ
 ファで寛いだり(⑤)、うたたねしたり、リズムを取りながら歌を
 歌ったり、何をするでもない、終わりのはっきりしない過ごし方もさ
 れています。

多分、はっきりした過ごし方も、そうでない過ごし方も、村上さんに
 にとって大事なんだろうと思います。

いま記事を書いている間も村上さんの声や歌が聞こえています。

ぽかぽかの中に、村上さんの過ごし方があることが、何か良いなあ
 といつも思っています。



④ シン・パックむきタワー(↑)

パックの束をセットして、上から順に
 取り組みます。タワー裏面の絵はTさんが描いて
 くれたものです(地下のモグラから宇宙まで、
 高低差を表しています)



⑤

いっしょに考える。
 いっしょに行う。



ろくちゃんまちをゆく NO.100



こんにちは。この通信を書いている時は、11月ですが、みなさんが読んでもらえている時は、1月になっています。改めて、新年を迎えてみなさんが元気に過ごしていることとおもわれます。今年も「ろくちゃんまちをゆく」をお願い致します。

今回は、「ほこみち」について記事を書いていきます。

「ほこみち」と言うても聞きなれない言葉だと思えます。正式には歩行者利便増進道路と言い、賑わいのある道路空間を構築するため制度で令和2年11月25日に施行されました。自治体が主体的に警察署や国と協議を行いました。決めていかれるようで、現在、神戸市、姫路市に設置され、大阪市も実施に向けて協議が進んでいるようです。



ほこみち

今、取り組んでいる神戸市のほこみちを 9月20日に調査してきました。参加者は、視覚障害、聴覚障害、車椅子利用者、学識者、事業者でおよそ 10人です。J R 元町駅から数分のところで、ほこみち（歩道にカフェやベンチを置いてゆっくり滞在できる空間など）とパークレット（歩道側と一段段差をつけて公共空間に変えていくエリア）があります。ほこみちのところでは、テーブルと椅子が置いてあり、自由に利用できるようです。調査の時には子供さんが利用されていました。その横でテーブルを利用させてもらい、設置してある椅子が固定されていないため車椅子でも不便なく利用できました。ただ、向かいにお店やホテルがあり、知らない方にとっては利用しても良いのか分かりづらいことや、視覚障害の方にとっては、ほこみちの情報を

知らない場合、いきなりテーブルや椅子があるとぶつかってしまうなどと危険な事も分かりました。パークレットでは、一段の段差があり、車椅子の場合は横からスロープで上がっていき利用が出来ますが、スロープ付近のテーブルと椅子が固定されていると利用出来ないことが分かりました。視覚障害の方にとっては、一段の段差がある事で「何かある」という事で分かりやすいようです。聴覚障害の方については、向かい合わせになることができ、手話がしやすいようです。



パークレット

調査して、利用してみたいという意見が多かったですが、ほこみちの事を初めて聞いた方が多く広めていく事が必要です。また、コロナ禍なので人が少ないから利用しやすかったですが、混雑時の場合や自転車との兼ね合いは、どうなのかという意見もありました。

自治体にはバリアフリー基本構想協議会があるところがあり、その協議会には当事者が参画しています。計画をたてる時には、当事者の意見を聞いてもらえれば、もっと誰もが利用しやすい計画になるのではと思いました。また、協議会が開催されていても当事者参画ができていない事もあり、引き続き、移動円滑化評価会議近畿分科会で仕組みづくりが出来るように働きかけをしていきます。(六條友聡)



ぼぼんがぼんに関わる方に興味のあることや趣味としていることなど、自由^{じゆう}に執筆^{しつぴつ}をしていただく新連載^{しんれんざい}です。初回担当^{しよかいたんとう}は、グループホーム部門^{ぶもん}歴^{れき}18年目の小野壮一^{おのすけいち}さんです。

○趣味の野球について

高校野球^{こうこうやきゅう}からプロ野球^{ぷろやきゅう}まで見ますが、野球^{やきゅう}が好きで球場^{きゆうじやう}にも何度か観戦^{くわんせん}に行っています。

京セラドーム大阪^{きよせらどーむおおさか}、ほっともっとフィールド神戸^{ほっともっとふいーるどくおの}。現場^{げんじやう}、球場^{きゆうじやう}でしか味わえない素晴らしい雰囲気^{ふんいき}。今はコロナの影響^{えいぎやう}で声^{こゑ}は出せませんがハリセンや手拍子^{てびやうし}での応援^{おうえん}。素晴らしいプレーには敵^{てき}、味方関係^{あじかたかんけい}なく拍手^{はくしゆ}など素晴らしい雰囲気^{ふんいき}を感じます。



プロ野球^{ぷろやきゅう}は、オリックス・バファローズ^{おうれっくす・ばふあろーず}を応援^{おうえん}しています。ももとは、近鉄バファローズ^{きんてつばふあろーず}を応援^{おうえん}していましたが近鉄バファローズ^{きんてつばふあろーず}が2004年^{ねん}でオリックスと合併^{がっぺい}してなくなり、合併当初^{がっぺいしゆじゆ}はオリックス・バファローズ^{おうれっくす・ばふあろーず}を応援^{おうえん}するか迷^{まよ}いましたが、関西^{かんさい}のパ・リーグのプロ野球^{ぷろやきゅう}チームはオリックス・バファローズ1チーム^{いちちいむ}になってしまったので、2005年^{ねん}からもオリックス・バファローズ^{おうれっくす・ばふあろーず}を引き続き^{ひきつづき}応援^{おうえん}しています。



オリックス・バファローズ^{おうれっくす・ばふあろーず}になってから16年間^{じゅうろくねんかん}はAクラス3位^いまでになれたのが、2008年^{ねん}と2014年^{ねん}の2回^{かい}。その他の年^{とし}は、4位^い以下のBクラス^いがほとんどでした。2019年^{ねん}と2020年^{ねん}は最下位^{さいげいかい}でした。

そして、2021年^{ねん}は、セ・パ交流戦^{せーぱこうりゅうせん}に優勝^{ゆうしょう}。オリックス・バファローズ^{おうれっくす・ばふあろーず}になってからは初のパ・リーグ優勝^{ぱーりーぐゆうしょう}。クライマックスシリーズ^{くわいまくすしりーず}にも優勝^{ゆうしょう}して日本シリーズ^{にっぽんしりーず}に進出^{しんしゆつ}と、応援^{おうえん}して良かった^{よかつた}なあと実感^{じつかん}する素晴らしいシーズン^{しーずん}となっています。

これを書^かいている時点^{じてん}では、まだ日本シリーズ^{にっぽんしりーず}は始ま^{はじま}っていませんが東京ヤクルトスワローズ^{とうきよやくるとすわろーず}との日本シリーズ^{にっぽんしりーず}素晴らしい日本シリーズ^{にっぽんしりーず}になるように願^{ねが}っています。

オリックス・バファローズ^{おうれっくす・ばふあろーず}の選手^{せんしゆ}を少し紹介^{すこししやうかい}させていただきます。

まずは、投手陣^{とうしゆじん}エース^{えいす}山本由伸^{やまもとよしのぶ}投手^{とうしゆ}。2021年^{ねん}シーズンは18勝5敗^{じゅうはちしょうごぱい}の素晴らしい成績^{せいせき}。まさに大エース^{おほいす}の活躍^{かつやく}でした。

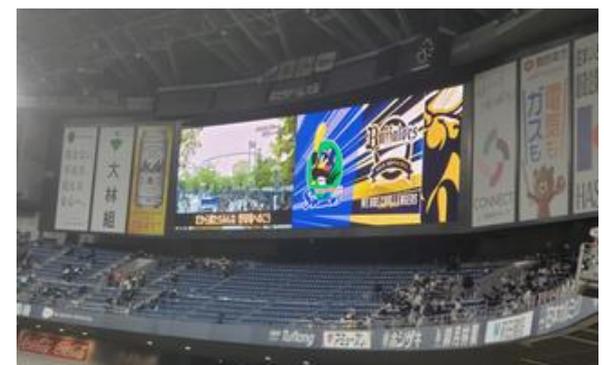
高卒^{こうそつ}2年目^{ねんめ}の宮城^{みやぎ}投手^{とうしゆ}。2021年^{ねん}は13勝4敗^{じゅうさんしょうよんぱい}の素晴らしい活躍^{かつやく}。

田嶋^{たじま}投手^{とうしゆ}8勝^{はちしょう}、山崎福也^{やまざきふくや}投手^{とうしゆ}も8勝^{はちしょう}と先発ローテーション^{せんぱつろーていしょん}には欠か^かせない存在^{そんざい}となりました。

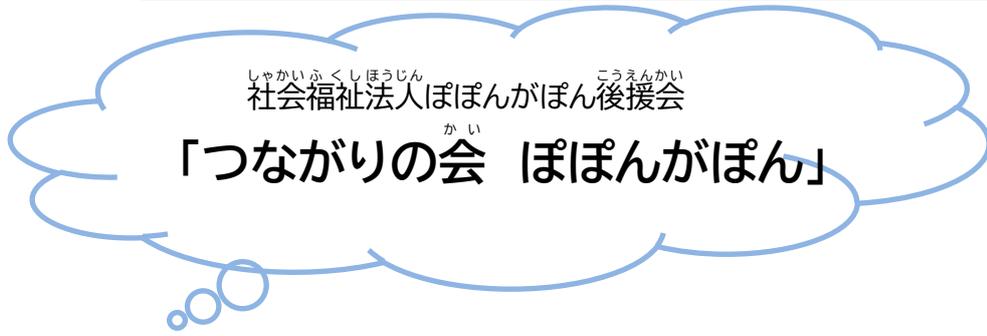
打者^{だしや}は、なんと^{なん}といっても大黒柱^{だいこくちゆう}2年連続^{にねんれんぞく}首位打者^{しゆいだしや}の吉田正尚^{よしたまさたか}選手^{せんしゆ}。愛称^{あいしやう}ラオウこと杉本^{すぎもと}選手^{せんしゆ}、32ホームラン^{さんじふにほーむらん}でホームラン王^{ほーむらんおう}の大活躍^{おほいす}。1、2番^{ばん}の福田^{ふくだ}、宗^{むね}選手^{せんしゆ}の活躍^{かつやく}も素晴らしい活躍^{かつやく}でした。

高卒^{こうそつ}2年目^{ねんめ}ショート^{しよーと}の紅林^{べにばやし}選手^{せんしゆ}の活躍^{かつやく}も素晴らしい。なんと^{なん}といっても昨年^{こぞ}8月^{がつ}から監督^{かんとく}に就任^{しゆじゆにん}した中嶋^{なかしま}監督^{かんとく}。選手起用^{せんしゆきしやう}の適材^{てきざい}適所^{てきじよ}と選手^{せんしゆ}とのコミュニケーション^{こみゆにけいしょん}も素晴らしい。ベンチ^{べんち}の雰囲気^{ふんいき}も明るくベンチ^{べんち}のみんな^{みんな}で試合^{しあひ}を戦^{たたか}っている感じ^{かんじ}がして素晴らしいです。

2022年^{ねん}以降^{いこう}もオリックス・バファローズ^{おうれっくす・ばふあろーず}が常に優勝^{つねにゆうしょう}や優勝^{ゆうしょう}争^{あらかさる}えるようなチーム^{ちいむ}になるように期待^{きたい}、応援^{おうえん}していきたい^{おもひ}と思います。(小野壮一^{おのすけいち})



いっしょに考える。いっしょに行く。



新型コロナウイルスの発生から、もう少しで二年になろうとしています。当初一年過ぎれば何とか収まるのではと思っていましたが、大阪府の感染者も増減を繰り返し、自粛、緊急事態宣言など、まだまだ平常に暮れない生活が続いています。幸い、事業所内で数件の感染はあったもののクラスターも出さず過ごしていますが、ぽぽんがぼんのスタッフの皆さんの日々続く取り組み、対応、心労を思うと感謝しかありません。

また、当事者の皆さんにも通所や派遣等、色々のご協力いただいているお陰です。ありがとうございます。

役員会開催ごとに活動について検討しましたが、二年続き本来の活動がほとんど中止せざるを得ない状況で、心苦しい限りです。多くの方が一堂に会せないこの状態がいつまで続くのか…、コロナをきっかけに、今までの生活様式が大きく変わっています。変化に対応しにくい人にとってはとってもしんどい事です。ストレスを増やさずに生活できるよう、何が取り組めるかな…？(村上和子)

ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございます！

ご寄付等のお礼 2021年9月1日～2021年11月20日まで（順不同）

※郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は上記期間に限らず掲載させていただきます。ご了承ください。

● 社会福祉法人ぽぽんがぼんへのご寄付ご協力ありがとうございました。

新井様 鎮山様 鈴木様 前川様 村上様 匿名の皆様

● つながりの会ぽぽんがぼん（後援会）へのご寄付ご協力、ありがとうございました。



【ご寄付いただいた方々】村上様 匿名の皆様

【募金箱のご協力（回収）】埴淵様 吉永様 ファミリーマート並木町店様 ファミリーマート舟木町店様

● アルミ缶・牛乳パック・その他物品の提供ありがとうございました。

【アルミ缶】ハロハロ様 舟橋様 浅野様 谷口様 高原様 太田様 作業所へ持参して下さった皆様

【牛乳パック】高原様 洗様 埴淵様 関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様 作業所へ持参して下さった皆様

社会福祉法人ぽぽんがぼんへご寄付をご希望いただける方は、ゆうちょ銀行へお願いいたします

<払込取扱票をご利用される場合>
口座記号口座番号：00930-0-212299
口座名称：社会福祉法人ぽぽんがぼん

<口座振込をご利用される場合>
銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900
店番：099 預金種目：当座
店名：〇九九(セ 味ウキウ)
口座番号：0212299
口座名称(漢字)：社会福祉法人ぽぽんがぼん
口座名称(カナ)：フクポボンガボン

編集後記

厚生労働省においてグループホームの再編が当事者の声を聴かずに進められようとしています。この動きに対して「グループホームの再編に反対する緊急行動ネットワーク」が結成され、ぽぽんがぼんとしても賛同し署名活動等に取り組んできました。ご協力いただいたみなさまには感謝申し上げます。



2021年11月24日厚生労働省に当事者を中心とした代表団が、【オンライン署名】36,737人、【自筆署名】10,781筆(11月23日時点)の署名を提出し記者会見を行いました。

今回の再編案からぼくが受け取ったイメージは(少し乱暴に言えば)
①「中軽度」の人はグループホームから追い出して地域住民が「面倒」を見る。それを相談支援が支援しなさい。ヘルパーも少しくらいは使ってもいいから。
②「重度」の人はグループホームを入所施設的に運営できるようにして終の棲家とする。その分少しくらいお金を増やしてあげられるかも。といったイメージです。



当初示された報告書からトーンダウンしたものの、厚労省は「一人暮らしを望んでいる人もいます」と言うことを理由に利用期間を限定した「移行型」の新設を考えているようです。(このことについてはグループホームから一人暮らしを希望する全ての人移行できるための支援策を考えるべきであり、グループホームを期限付きにするべきではないと考えます。)

一方で「重度」の人の「一人暮らし」への移行は全く想定されていません。(このことを援助付き一人暮らし(自立生活)を望む重度知的障害のある人の立場から見れば「重度知的障害のある人は一人暮らしではなくグループホームに住みなさい。」と言われているようなものであり、「重度」の人の「一人暮らし」という選択肢がますます狭められてしまうことに危機感を覚えます。)

重度知的障がいのある人が長時間ヘルパー(重度訪問介護)を使い自立生活を選択できるように。地域での暮らしの場としてのグループホーム制度が確立されるように。これからも取り組んでいきたいと思えます。(太田吾郎)

編集人：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」
(社会福祉法人ぽぽんがぼん)
Tel(072)623-9202 (お問い合わせはこちらまで)
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F



<https://popongapon.com/>

発行人：関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2-東興ビル 4F 定価:50円



みやすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。